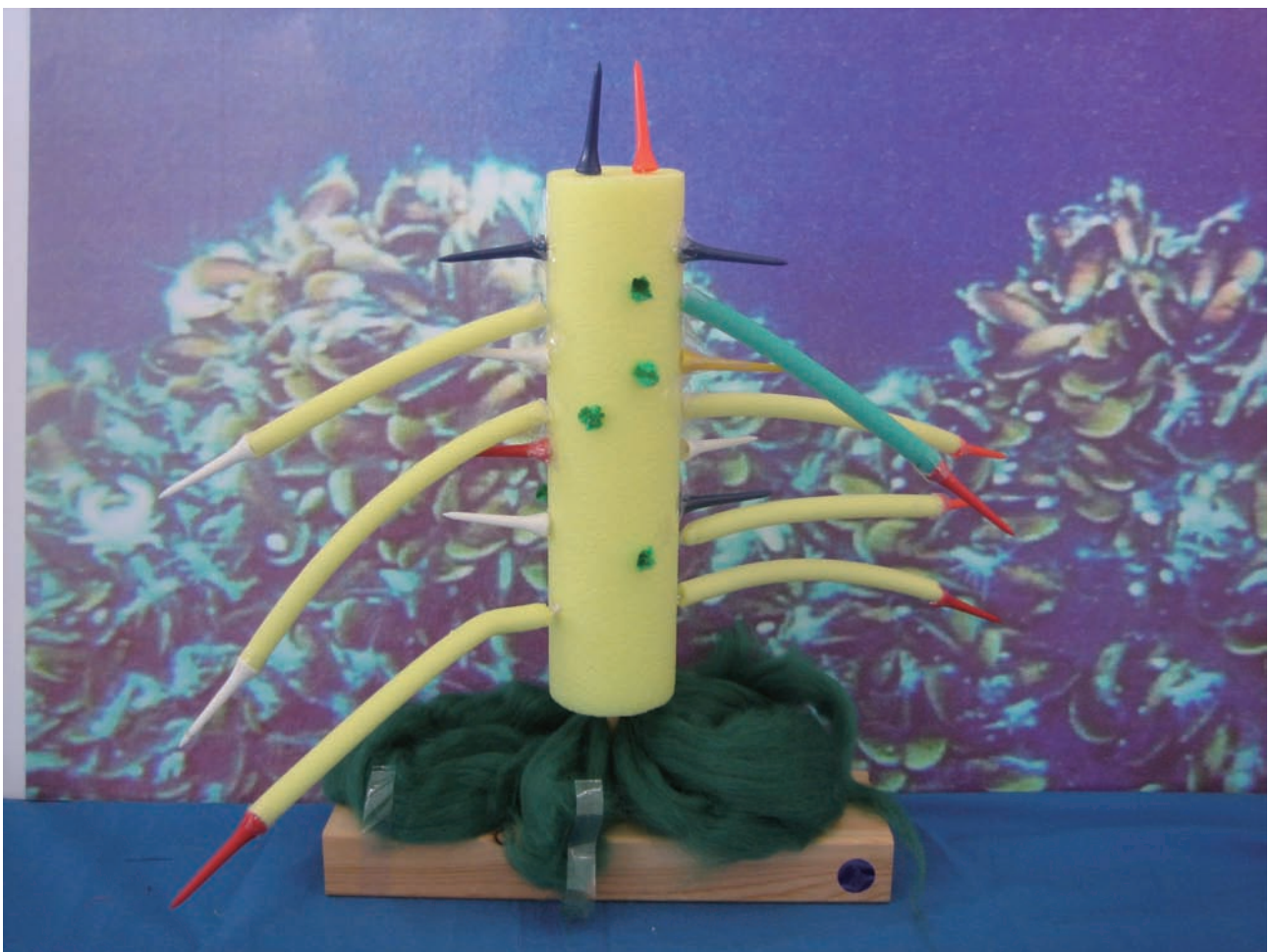


生物の名前

ザンボ

【名前のゆらい】

サンゴと見分けがつかないから。サンゴとにているから。

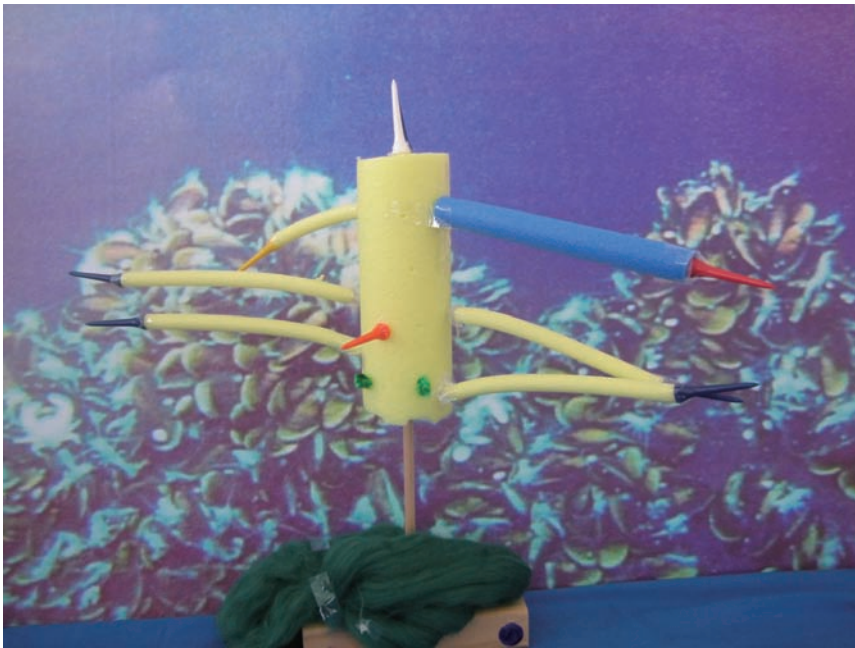


体長：600 cm 体重：500 kg

【せいかく・とくちょう】

とくちょうは体についたどくばりで、やさしいせいかく。

ザンボのこども

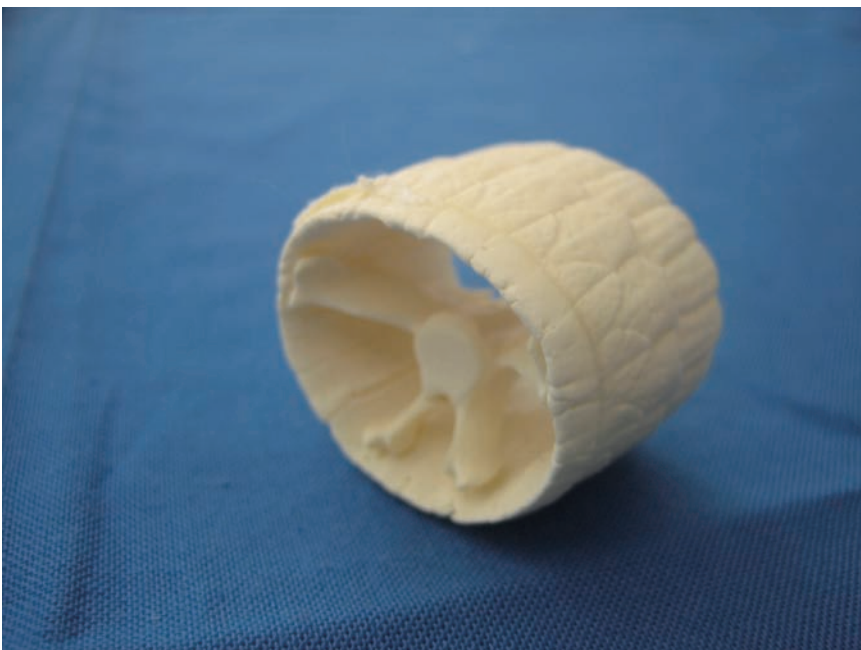


体長：100 cm 体重 100 kg

【せいかく・とくちょう】

おとなと同じで体についたどくばりがとくちょうで、やさしいせいかく。

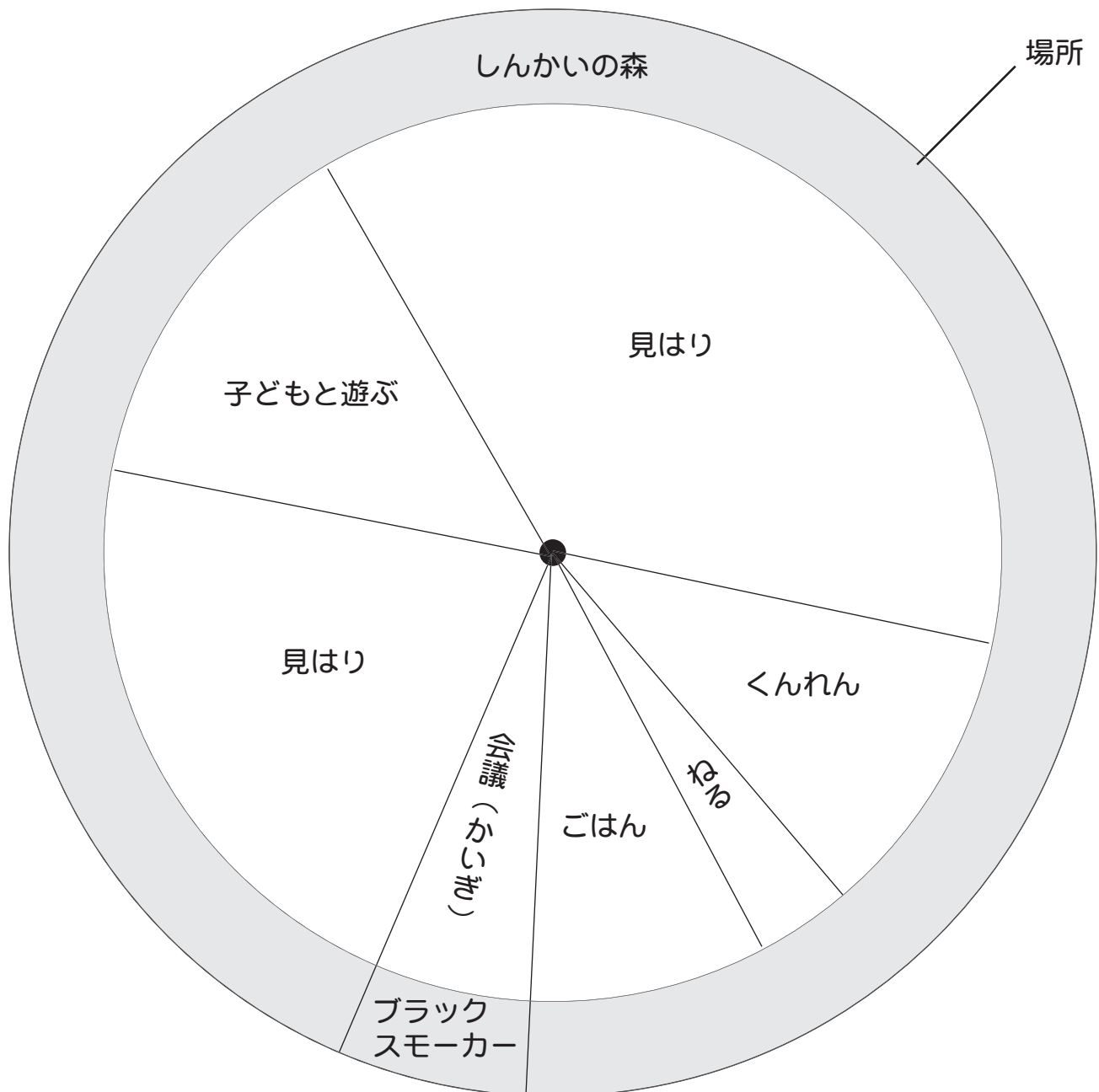
ザンボのほね



ザンボの体の1番下の部分のほねだとすいそくしました。

生活のようす

【1日の生活】



【すきな食べ物】

ザンボの毒ばりや体についた小魚やプランクトンをじしゃくのように引きよせて食べる。

【1番なかの良い生物】

サンゴ（毒をもっている）、イソギンチャク、カクレクマノミ

→その理由は？

ノボリンやポイズンファンクをたおすのに、やくだって仲よしだから。

【ライバル】

ノボリン、ポイズンファンク

→その理由は？

同じように毒をもって海をあらし回っていてそれをザンボがたおすから。

【ザンボのゆめ】

ぐっすり安心して、てきもせめてこない所でぐっすりねること。

→その理由は？

毎日ノボリンやポイズンファンクをたおすために、毎日毎日くんれんや見はりをしているから。めっちゃ強い。

【その他】

→わかったこと

昔はザンボはどくばりははえていなかったけど、ノボリンやポイズンファンクなどがあらし回ったから、おこってどくばりがはえた。

→まだわかっていないこと

たまごをどうやって地上にもって行ってふ化するのか。

サンホ

のしょうかい



【開発の理由】

この道具は、ザンボのたまごをどうやって地上にもってくるかを調べるために発明しました。

【この道具のすごいところ】

サンホもどくをもっている、たまごがいっぱい入る

【この道具の使い方】

ある研究所で、コンピューターを使ってめいれいをして、じゅもんをとなえる。そして自動にたまごをとってきてくれる。

【設計図】

